

空港舗装 補修最適化システム開発

SCOPE 限られた予算で管理実現

港湾空港建設技術サー
ビスセンター（SCOP
E）は、滑走路や誘導路、
エプロンなどの空港舗装
の補修時期を最適化でき
るシステムを開発した。
実際の空港で蓄積された
舗装補修指数（PRI）
データを活用し、必要な
レベルの舗装機能を保ち
ながら、年度ごとの最適
な補修計画を立案できる
ようにした。

「Airports」を
開発した。
具体的には、空港の滑
走路や誘導路、エプロン
などをブロック化し、年
度ごとに、どのプロッ
クをどの工法で補修すれ
ば予算を平準化しながら
必要レベルの舗装機能を
保てるかを分かるように
した。

今後、政府の成長戦略
としてコンセッション
（事業権付与）で空港の
管理・運営を民間に任せ
ることも想定されている
だけに、システムのニー
ズは広がりそうだ。

特定年度に補修予算を
突出させることなく、限
られた予算内で補修を実
現できる上、補修の前倒
しによる予防保全効果で
維持管理コストの削減も
可能になり、アセットマ
ネジメントによる空港の
最適な維持管理が実現す
る。

だが、今後は公共事業
費の削減に伴い補修費用
にも限界が来ることが予
想されるため、SCOP
Eは舗装補修指数のデー
タを使って空港舗装の
「経時劣化」と「補修に
よる性能回復度」を定量
化。合理的に補修計画を
最適化できるシステム

空管内をブロック分け
し、ブロックごとに最適
な補修時期や費用、工法
が分かり、特定年度に予
算を突出させることなく
最適化できるシステム

空管内をブロック分け
し、ブロックごとに最適
な補修時期や費用、工法
が分かり、特定年度に予
算を突出させることなく
最適化できるシステム

空管内をブロック分け
し、ブロックごとに最適
な補修時期や費用、工法
が分かり、特定年度に予
算を突出させることなく
最適化できるシステム